

徳島県内で調剤薬局17店舗を展開するスマイルホールディングス(HD、徳島市)は、薬の処方内容や服用履歴を記録する「お薬手帳」を電子化する。手帳の情報がインターネット上に

保管され、パソコンやスマートフォンでいつでも閲覧できるようになる。災害で手帳がなくなってしまう場合などに備えるのが主な目的。8月1日から6店舗でサービスを始める。

スマイルHD

お薬手帳電子化

PC・スマホでいつでも閲覧 災害時や旅先で有用



お薬手帳を電子化し、服薬情報が示されたタブレット端末—徳島市のスマイル健康館

来月6店で開始

健康館、山城、池者はIDとパスワード田、国府、国府南、牟を受け取り、パソコン岐の各店舗で、希望すやスマートフォンからる患者を対象に始め専用インターネットる。利用料は無料。従サイトに接続して情報来の紙の手帳も引き続を閲覧する。災害などで使用する。で手帳がなくなった場各店舗は、患者に処合のほか、旅先で急病方した薬の情報をデータになり手帳を持っていタセンターに送信。患なかった際などにも、いる。(久保高茂)

インターネットに接続できれば、医師や薬剤師に服薬情報を伝えることが可能になる。

専用サイトでは、患者自身が健康診断の結果や食事内容などを記録できる。ヘルシールシレや医療辞典も閲覧でき、日々の健康づくりに役立ててもらう。日本保険薬局協会(東京)の電子「お薬手帳」システムを四国で初めて導入した。利用料は1店舗につき年間2万円(10月からは3万円)。

阪神大震災や東日本大震災では被災者がお薬手帳を持たず、適切に薬を処方できなかったケースがあった。こうした事態を受け、全国の調剤薬局で電子化が広がっている。武田喜美男社長は「災害時に威力を発揮するお薬手帳の電子化は喫緊の課題。グループ内の他の薬局にも早急に導入を進めたい」と話している。